

ふじみ野大井西バレーボール部の主力選手達が強豪校に進学

目標切り替え新たな挑戦へ 高校で飛躍誓う



高校での飛躍を誓う(左から)小正路、福田、明戸、山田

悲運の1年過ぎず
新型コロナウイルスの感染拡大による大会中止など、悲運の1年を過ごした中学3年生が次の目標に向けて走り出した。昨年からの2年連続の全国大会出場をコロナ禍で失ったふじみ野大井西バレーボール部は、新たな挑戦を始める。同練習で「すくすく練習して、明戸、山田、小正路と、部の雰囲気や自らの可能性を考えて選択。山田は「強いチームで例えレギュラーが取れなくても、やり遂げるのが目標」と、新しい3年間の目標を掲げた。

八丈監督「例年よりメンタルが鍛えられた」と今後の活躍に期待

さらに共通しているのは、中学最後に味わった不完全燃焼の思い。明戸は「何で私たちの代(でコロナ)なんだろう」と、正直、まだ切り替えられない部分もあると吐露。「高校で日本一へ向けた練習に集中したい」と思いをぶつける。福田は「練習できなかつた時間に、生活面などバレー以外のことを教えてもらった」と、成長した部分を「プレーにつなげる構成を、八丈明監督(60)もこの3年生は例年よりメンタルが鍛えられた。活躍が楽しみ」と期待している。

県ソフトテニスインドア選手権 上尾高校OBアベックV



3年ぶり2度目の優勝を飾った上尾高校OB

3年ぶり2度目
令和2年度埼玉県ソフトテニスインドア選手権が2月28日、3月7日の2日間、くまがやドームで行われた。クラブチームや実業団が団体戦で競う大会で今回が4回目の開催。男子決勝では上尾高校OB Aが2-1で日本信号Aを下し、3年ぶり2度目の優勝。女子とのアベックVも飾った。自らも選手として出場した大城戸宏和監督(32)は「私は決勝では苦戦しましたが、みんなが頑張ってくれた。応援の力も

あったかな」と、メンバーや大会初日に優勝を決めていた女子の存在にも感謝した。大城戸監督が「特に大きかった」と話したのが、笠井豊(26)・矢部佳祐(27)組の活躍。決勝では日本代表を擁する相手ペアに4-0で快勝し、「準決勝まで不調で開き直った。リターンが良くなり相手も崩れてくれた」(笠井)と、Vへ弾みをつけた。ふだんの練習は上尾高で後輩たちへのコーチを兼ねて行うクラブチームで、笠井は「高校生に教えることで逆に吸収することや刺激もある」。昨年11月に加入した武井優磨(22)も「先輩方も楽しい人ばかり。ノビノビとできるテニスも楽しい」と本来の力を発揮した。「今年はクラブ日本一を目指す」(笠井)と、目標を掲げていた。

写真お分けしています
本紙が撮影した写真に限り、お分けしています。A4サイズ800円、ハガキサイズ400円。お申し込み・お問い合わせは ☎03-5479-1231 報知新聞社販売統括部。ご担当の読売新聞販売店からお届けします。またHP(さいたま報知写真館)では未掲載写真もご覧いただけます。※さいわかや野球教室などお分けできない写真もあります。ご了承下さい。

決勝で笠井・矢部ペアが日本代表相手に快勝

「夜間尿」に効く 唯一の漢方。

ご存知ですか? 「夜間尿」に効く 唯一の漢方。

60代の約8割が夜間尿
夜間、1回でもトイレに起きる人は、夜間尿とよばれる40代から増え始める60代では約8割が該当します。

「加齢が原因で、早めの対処が必要」
夜間尿は加齢と密接な関係があり、尿の濃縮力が衰えるため、尿量を調節しにくくなり、尿意を感じやすくなる。尿意を感じやすくなることで、尿意を我慢できず、トイレに頻りに行くようになる。尿意を感じやすくなることで、尿意を我慢できず、トイレに頻りに行くようになる。

そんな夜間尿に医薬品の「奈良八味地黄丸錠」が効きます。

中国の古典医学書に記された60代以上の夜間尿対策として漢方では、第1選択薬とされる「八味地黄丸」の効用も、このように、尿意を感じやすくなることで、尿意を我慢できず、トイレに頻りに行くようになる。

【お申し込みは、今すぐお電話で】
営業時間 7:00~21:00
インターネット ▶ 下記URLよりアクセスください
<https://nara-yamatoshoyaku.co.jp>
0120-888-011
奈良八味地黄丸錠